

## サンライズ幼児学園 保育所 ハッピートーク等々力園

東京都世田谷区等々力3-12-2 平林ビル2F  
TEL 03-6913-4328 FAX 03-6913-4329  
URL: <http://www.ht-todoroki.com/>

## ABC キッズ保育園

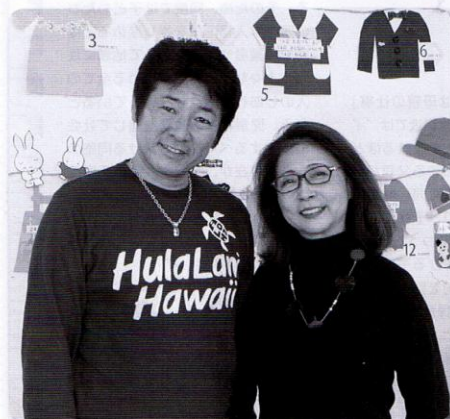
東京都世田谷区船橋 1-9-18  
TEL 03-3429-5902  
URL: <http://www.abckids.ed.jp/>

■集団生活やお遊戯の指導ではなく「学ぶ場」であることの要素を重視した『サンライズ幼児学園 保育所ハッピートーク等々力園』。幼稚園や小学校のお受験対策も行う全く新しいスタイルの保育園として注目されている。本日は前波園長にお話を伺った。

布川 まずは、前波園長の独立までの歩みからお聞かせ下さい。  
前波 私は30年以上にわたって、児童英語に携わってきました。指導自体は楽しかったのですが、次第に何か新しいことを始めたいという思いを抱くようになっていったのです。ただ、当時はプライベートで子育てなどしなければなりませんので、時期を待つことにしたのです。そして、子どもたちが大学

に入学したことを機に新たなことにチャレンジしようと。それで、保育園のフランチャイズ展開を行う会社と出会ったことから、加盟して園をスタートしました。ところが、2年ほどフランチャイズの保育園を運営する中で、自分なりのやり方を試してみたいという思いが強くなりましたので、改めて『サンライズ幼児学園 保育所ハッピートーク等々力園』として独立したのです。そして昨年には千歳船

橋にある保育園も引き継ぐこととなり、2園目となる『ABCキッズ保育園』も開園したのですよ。  
布川 どのような保育園を目指しておられるのでしょうか。  
前波 お受験対策ができる「学びの場」としての保育園づくりを行っております。お子様に私立・国立の幼稚園や小学校を受験させる場合、塾やおけいこに通わせることが一般的です。しかし、お母様が働かれてい



園長 前波 鼓

る場合、塾やおけいこの送り迎えができないために、お受験そのものを諦めるというケースが多いんです。しかし、お受験というのはどの子にも平等にチャンスが与えられるべきで、親が仕事をしているからという理由で挑戦できなくなるといのはいけないと思うのです。そこで、塾やおけいこで教えることを保育園で教えようと思ひ、当園の基本的な方針としたのですよ。

布川 そうした保育園を待っていた保護者の方は多いと思いますよ。  
前波 そうだったら嬉しいですね。他の保育園は様々な遊びを教わることや集団行動を学ぶことがメインとなりますが、長時間お子様をお預かりするからには、こちらでできることを全て与えたいという発想なんです。幸い、私は児童英語が専門ですし、副園長はお受験指導ができる先生なので、カリキュラムに幼児教室で行う全てを組み込むことができるんです。また、グローバル社会となった現代で活躍できるよう、積極性を育みたいとの思いから、プレゼンテーションの練習をさせていますし、日本人としての心を忘れてほしくない、ことわざや漢字の指導にも力を入れております。ですから特別にお受験用の教室に通わせなくても、毎日当園に通っていれば

# 「教育内容と育成環境に工夫を凝らし 自立した子どもたちを育てていく」

お受験に必要な知識と実力をつけることができるんですよ。

布川 同じような指導を行う保育園は少ないではありませんか。

前波 そうだと思います。私どもと同じような保育園をつくりたいと思ってもブレーンを確保できなければ難しいですから。それに、お受験または子育てに対して高い意識を持っている保護者が多い地域でなければ経営自体も成り立ちません。人と場所に恵まれたからこそ当園は運営できているのです。私の理想に共感してくれたスタッフや、私を信じて子どもさんを預けて下さった地域の方々には感謝しています。

布川 中には普通の保育園と思われて問い合わせをしてこられる方もいらっしゃるでしょう。そうした方はお断りされるのですか。

前波 そんなことはありません。確かに仕事をしている間だけ預けたいという感覚でお問い合わせ下さる方も多くいらっしゃいます。ただ、当園は元々面談の場を設けて園の方針を話させて頂き、ご理解を得てから入園という形を採っておりますので、当園の雰囲気を見たり教育方針を聞いたりする中で興味を持たれて入園を希望される方がほとんどなんです。元々、才能教育に興味があった方にも選んでもらえるということは自信になりますし、さらに教育体制を整えていきたいという思いも強くなりますね。

布川 教育制度以外で力を入れておられる点がありますか。

前波 子どもの成長する力を伸ばしてあげられる体制を整えています。一般的な幼稚園だと年齢別に分かれていますが、年齢で制限を設けてしまうと子どもたちが成長する可能性を抑制してしまいかねないです。子どもというのは大人が思っている以上に成長するもので、1歳児でも3歳児と同じカリキュラムを与えればできるようになるものなんです。ですから当園は縦割り保育を行い、子どもたちそれぞれの可能性を引き出していけるように努めているのです。

布川 こちらに預けたいという保護者の方が多いのも頷けます。最後にこれから

の夢をお聞かせ下さい。

前波 月並みですが、私にとって子どもたちの成長を見ることが日々の仕事のやり甲斐なんです。ですから、一人でも多くの子どもたちを育てていけるようにこれからも力を尽くしたいですね。そもそも、私はなかなか子どもを授かることができなかったため、子どもに関わる仕事をしながらどのように子育てをしようかとたっぶり時間を使って考えたのです。その中で出来上がったのが、現在提供している保育スタイルなんです。自分の頭で考えて自分の足で立ち、Yes・Noがしっかり言えるなど自立できる子どもに育てること。それが私どもが目指している保育のベースとなっています。そん

な私たちが提供する理想の保育に、一人でも多くの人に共感して頂けるようにこれからも努めていきたいですし、ともに子どもたちの素晴らしい能力を育てていきたいと思っています。そして当園を巣立っていった子どもたちが世界中で活躍してくれば他に望むことはありませんね。  
布川 本日はありがとうございます。  
(2011年10月取材)



ゲスト 布川 敏和

私も3人の子どもの父親ですから、子どもの成長の早さに驚かされた経験があります。だからこそ教育と育成に力を入れる前波園長の考え方は理解できましたし、魅力的な園だと思いました。そして、そうした考えのもと育てられているからこそ同園の子どもたちは生き生きとしているのでしょうね。

## 心を育てる才能教育で 子どもを成長へと導く

▼『サンライズ幼児学園』が行っている教育は「鈴木メソッド(才能教育)」が基本となっている。才能教育とは「どの子も育つ、育て方次第」を理念としている教育法で、バイオリニスト鈴木鎮一氏によって創始されたもの。前波園長は1冊の本からその存在を知り、「これこそ自分が探し求めていたもの。わが子も学ばせたい」と思い、2人の子どもに才能教育を施したのだとか。

▼そして自らの子育てを終えた現在は、自身が運営する保育園の子どもた

ちに才能教育を基にした教育を行っている。そして園長は「才能は生まれつきではない。早い段階で良い環境を与えて、能力を育ててほしい。そのためには良い環境を与えるのが“親”の務め」と語り、子どもたちの未来のために今を大切に精一杯の教育を行っている。同園から巣立つ子どもたちが、将来どのような活躍を見せるのか楽しみでならない。

